

# 内航船員養成の現状

---

独立行政法人海技教育機構(JMETS)

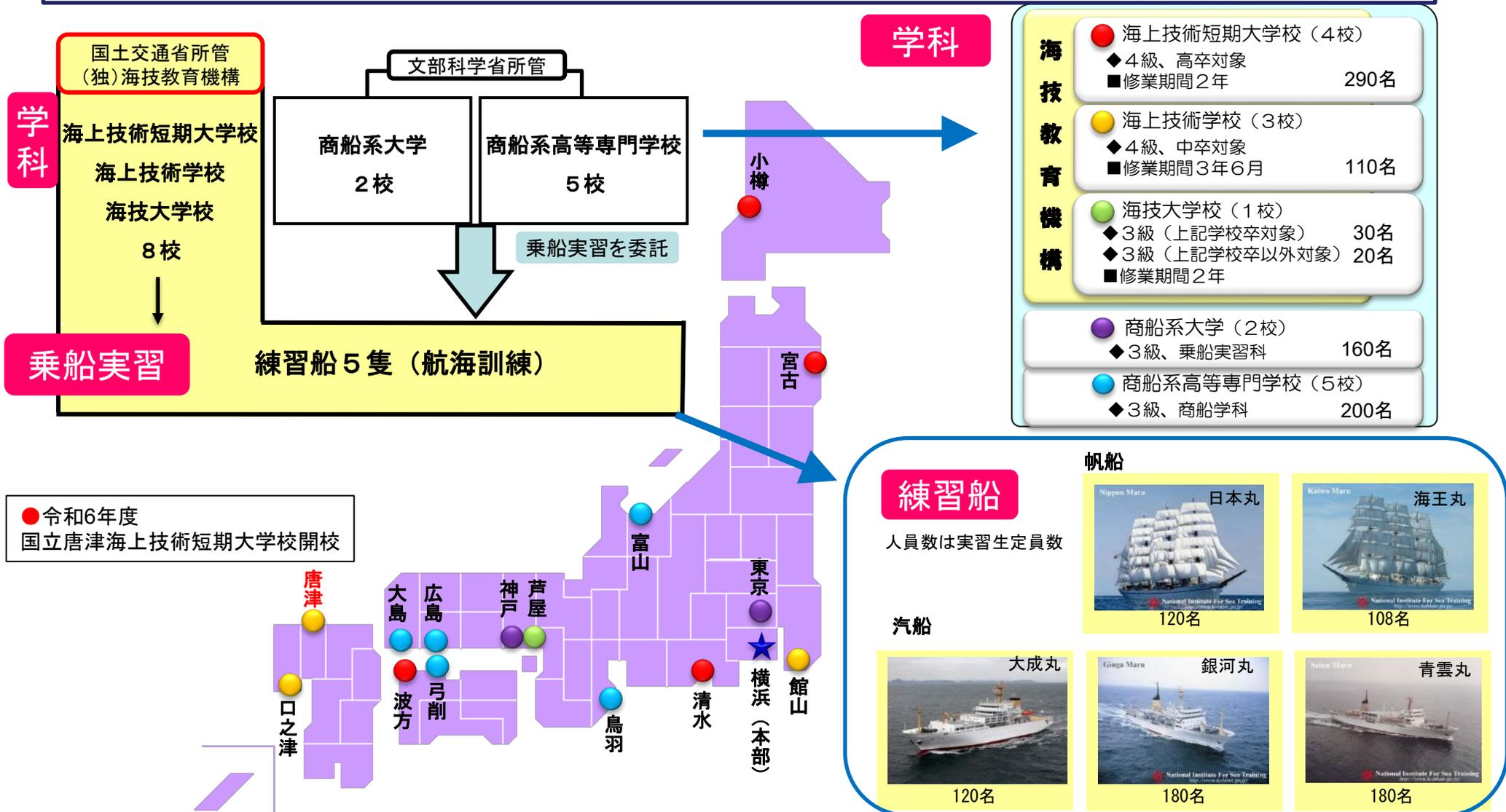
企画調整部長 外谷 進

募集就職課長 毛利 文彦

# 1. JMETSの船員教育体制

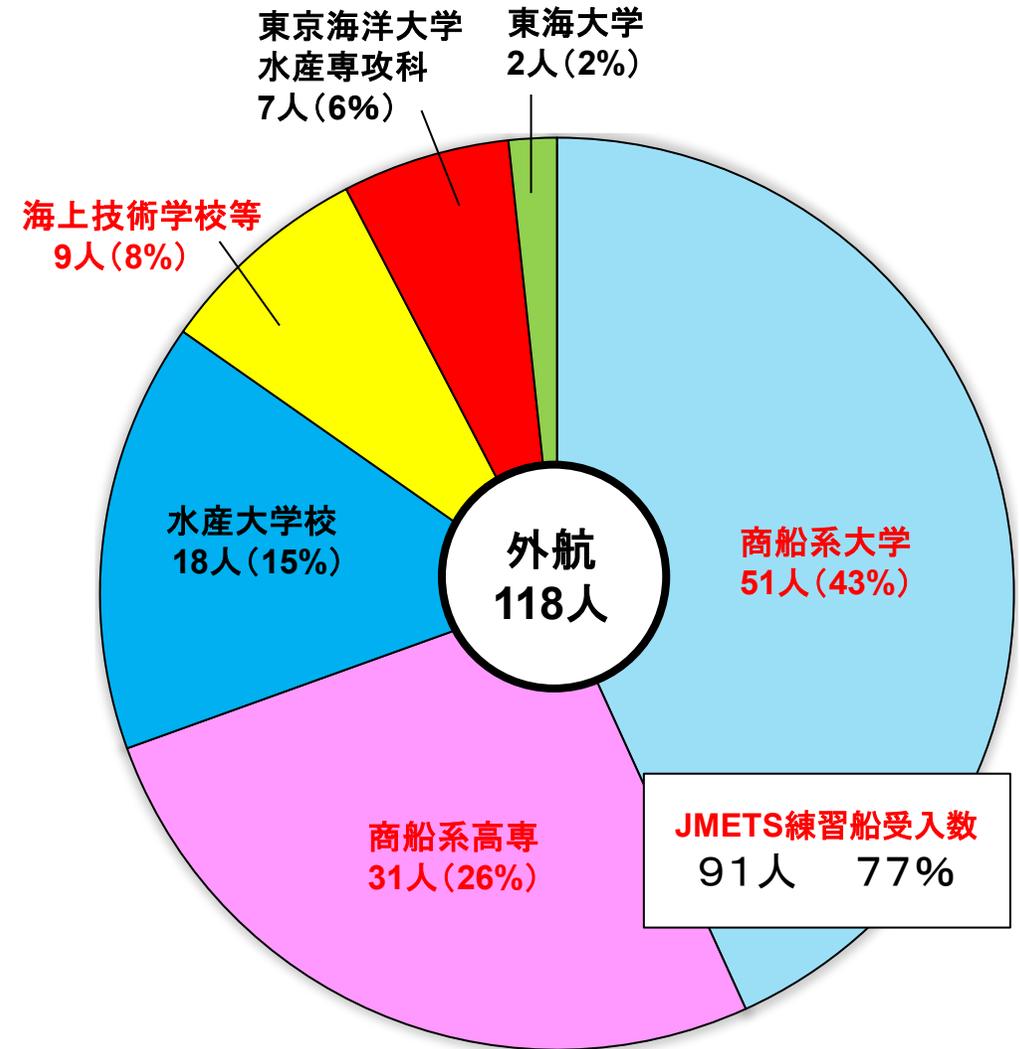
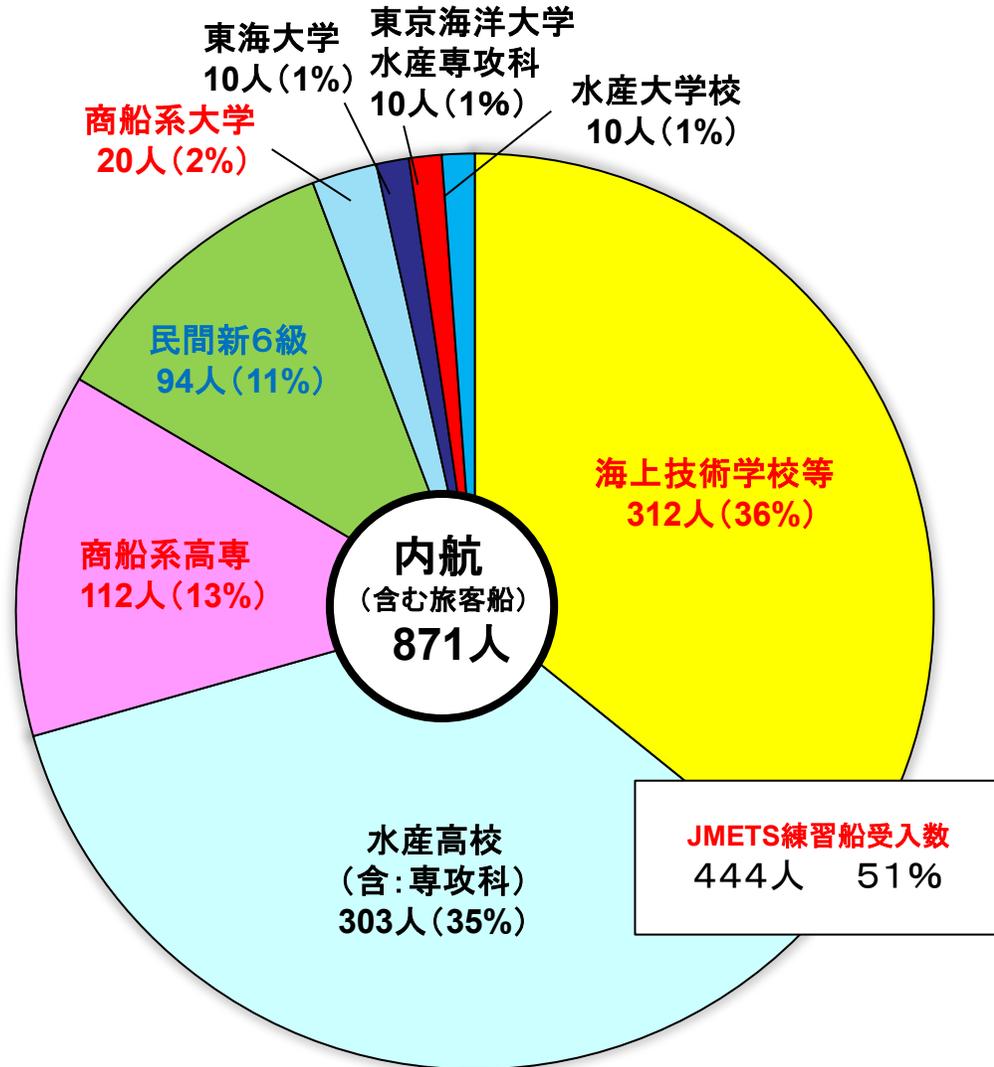
○船員となるための海技士免状（国家資格）を取得するには、学科（理論の習得）と乗船実習（運航技能の習得）が必要。これらを、次の船員教育機関が役割分担の上で、連携して実施。

- ・学科を教える：（独）海技教育機構8校、商船系の大学2校及び高専5校
- ・乗船実習を、上記15校に対して一元的に行う：（独）海技教育機構練習船5隻



## 2. 外航・内航における教育機関卒業者の構成比（令和2年度卒業者）

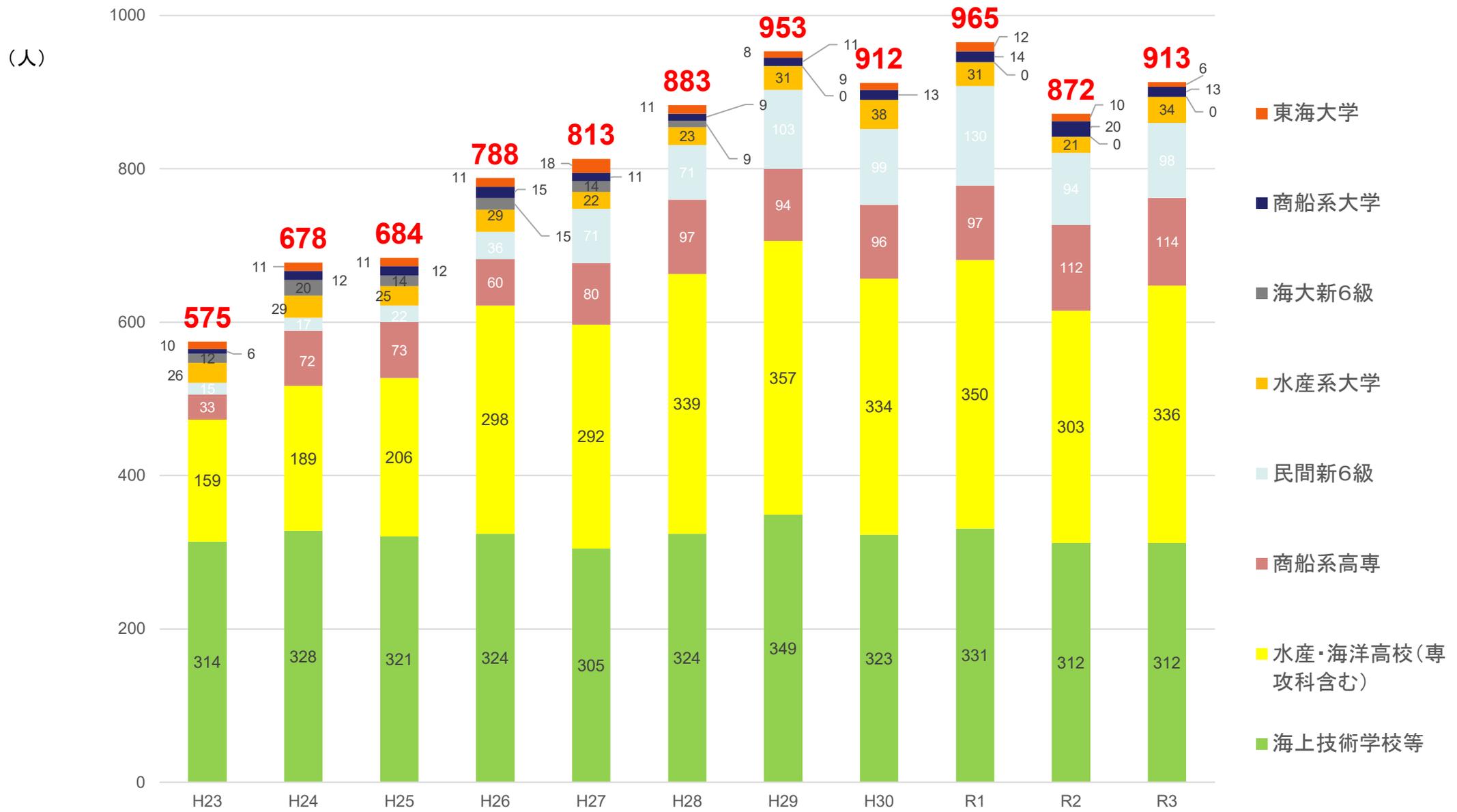
教育機関を卒業した海上就職者数に対する各教育機関卒業生数の比率（%）（赤字：JMETS練習船受入対象者）



- ・商船系大学: 東京海洋大学海洋工学部、神戸大学海事科学部を卒業し、乗船実習科を修了した者を対象
- ・商船系高専: 各商船系高専(富山、鳥羽、広島、大島、弓削)の商船学科を卒業した者を対象
- ・東海大学: 航海工学科航海学専攻を卒業し、乗船実習課程を修了した者を対象
- ・海上技術学校等: 海上技術学校、海上技術短期大学校、海技大学校(海上技術学校・海上技術短期大学校からの進学者)を卒業した者を対象
- ・民間新6級: 民間養成施設で実施している6級コース修了者を対象(令和2年度は、コロナ禍特例措置対応により、JMETS練習船で受入実績なし、例年は50名程度受入)
- ・水産大学校: 海洋生産管理学科若しくは海洋機械工学科を卒業し、専攻科を修了した者を対象
- ・水産高校(専攻科含む): 海洋漁業系学科、水産工学系学科を卒業した者、専攻科は海洋漁業系、水産工学系を卒業した者を対象(全国公立水産関係高等学校一覧及び関連データ(全国水産高等学校長協会発行)より)

# 2. 内航船員新規就業者数の推移

○ これまでの取組により、海上技術学校や水産・海洋高校等の卒業生を中心に、新規学卒者の内航への就職は増加傾向。



国土交通省海事局調べによる。  
 内航には旅客船を含む。  
 海上技術学校等:海上技術学校、海上技術短期大学校、海技大学校(海上技術学校・短大からの進学コース)  
 海大新6級:海技大学校で実施していた6級コース(平成19年度~平成28年度)  
 民間新6級:民間養成施設で実施している6級コース(平成21年度創設)

# JMETS校卒業生の就職について

---

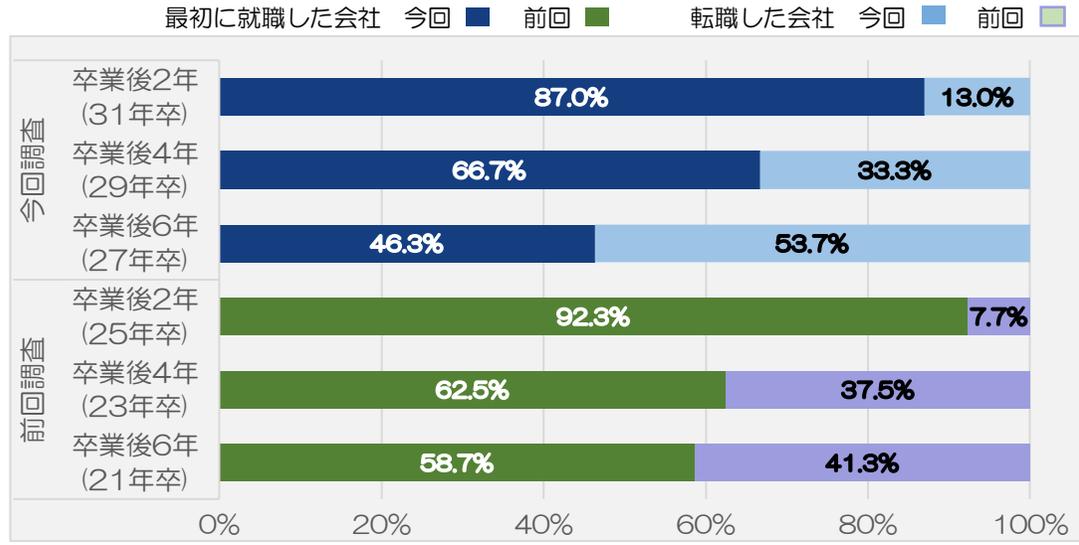
※内容は省略させていただきます

# JMETS校卒業生の卒業後について

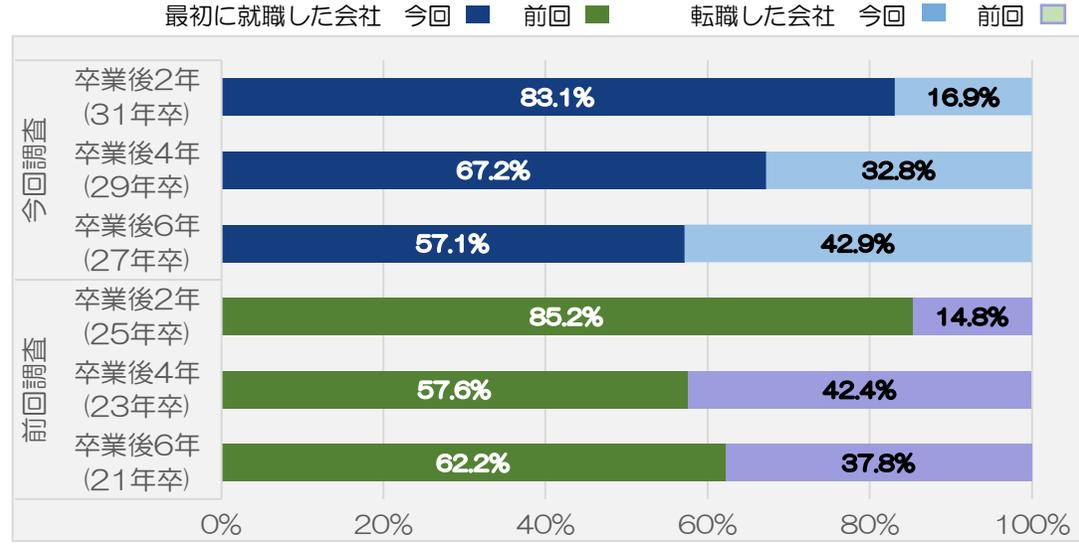
---

# 9. 卒業後の定着状況 (R2、H27年度アンケート調査)

## JMETS

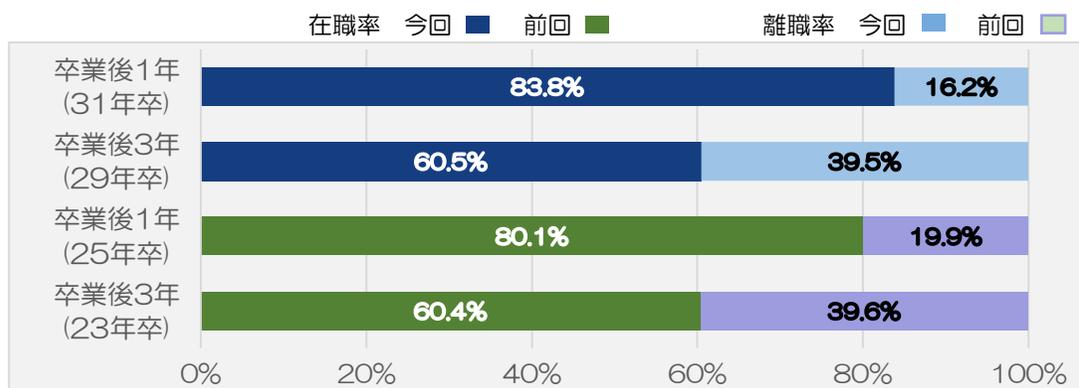


海上技術学校卒業生の在職率



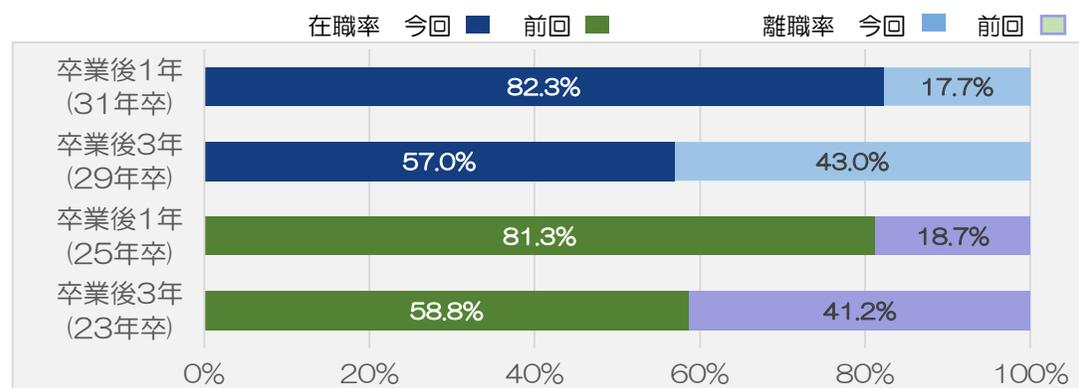
海上技術短期大学卒業生の在職率

## 厚労省調べ



新規学卒者の離職状況(高校卒)

(厚生労働省 令和2年10月データより) ※31年卒及び25年卒は在職1年目

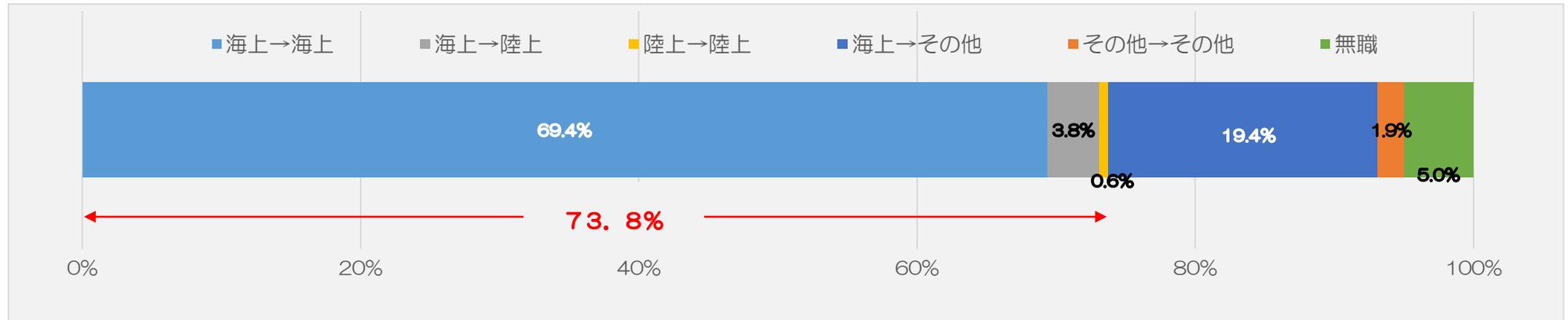


新規学卒者の離職状況(短大卒)

(厚生労働省 令和2年10月データより) ※31年卒及び25年卒は在職1年目

集計結果は、新規学卒就職者の離職状況(厚生労働省調べ)とほぼ同じ傾向を示している。

## 【R2年度調査】 転職者の状況(卒業後2年、4年、6年の集計)



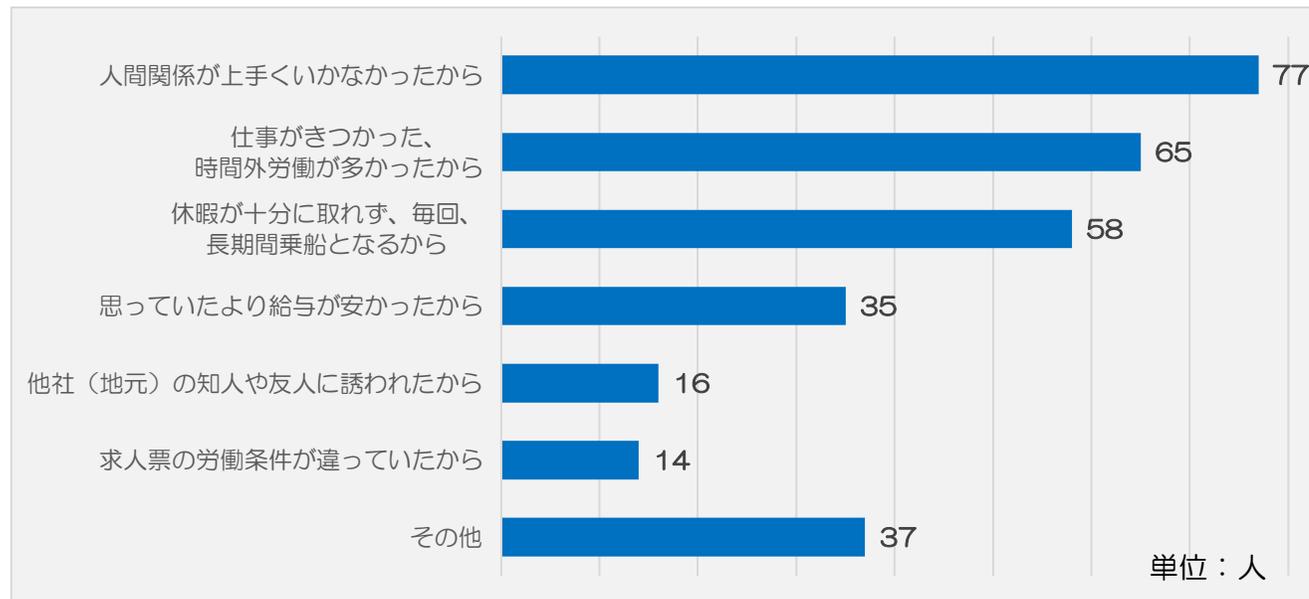
※ 陸上とは、造船・海上関連産業の陸上職とする。

※ 造船・海上関連産業以外の陸上職やアルバイト等はその他とする。

海上職から海上職、海上職から陸上職、陸上職から陸上職へ転職した者をあわせると73.8%(赤の矢印)にのぼることから、多くの者が海上関連へ転職している。

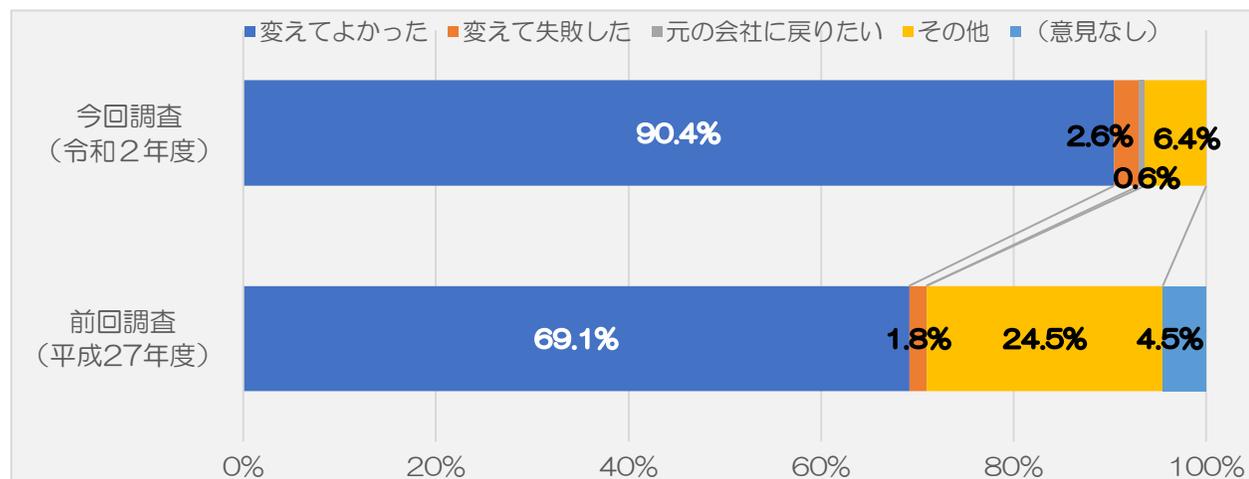


## 転職した理由(複数回答)



- 「求人票の労働条件と違っていたから」の理由としては、「時間外手当がつかない又は貰えない」「時間外労働が多い」「休日が少ない」等が挙げられた。
- 「その他」の理由としては、「ハラスメントがあった」「結婚等による家庭の事情」「怪我」「船酔い」などが挙げられた。

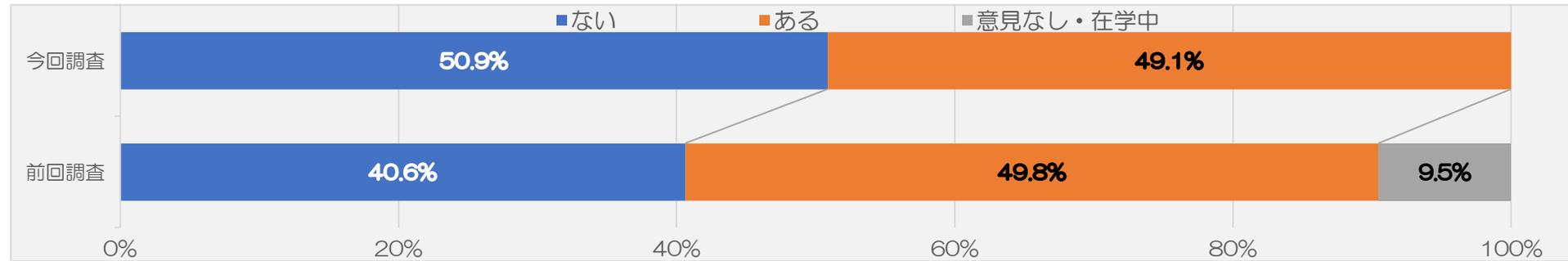
## 転職した感想



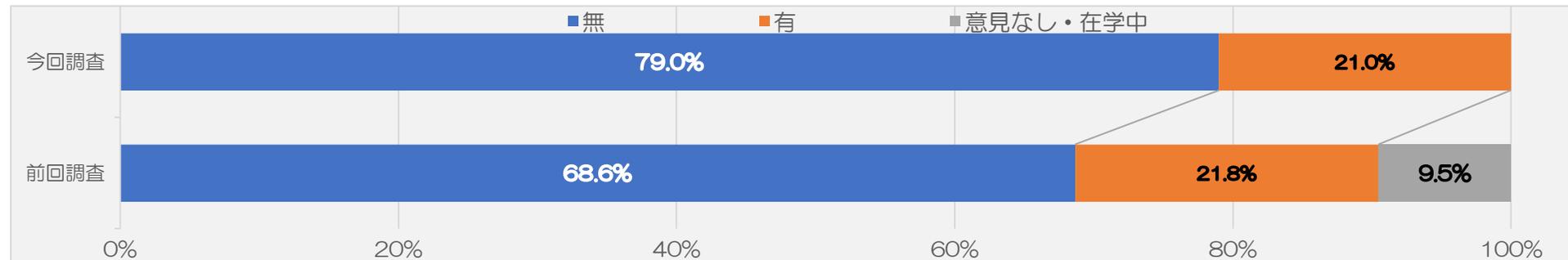
- 前回調査と比較して、会社を「変えて良かった」と回答した者が大幅に増えた。
- 「その他」の理由としては、「良くも悪くもない」「どちらでもない」などが挙げられた。

# 12. 会社への不満/転職希望の有無

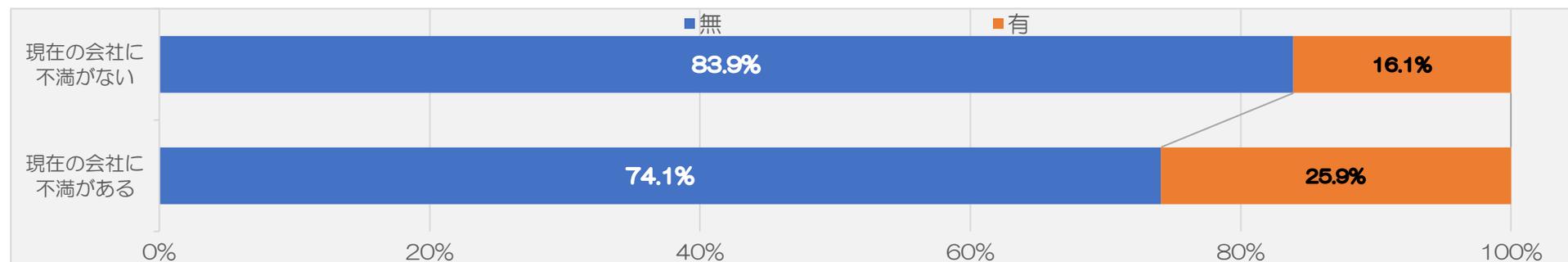
## 現在の会社への不満



## 転職希望の有無 (前回調査との比較)



## 転職希望の有無 (会社への不満有無別比較)



# 13. 人材確保に向けた活動

## 学校施設及び練習船を活用したイベント

- ・オープンスクール
- ・オープンキャンパス
- ・学校説明会
- ・練習船一般公開
- ・練習船見学会
- ・シップスクール
- ・海事イベントへの協力



近年は、COVID-19の影響もあり、WEBを活用した活動にも積極的に取り組んでいる



- ・ JMETSは、全国8校の学校での学科教育と練習船5隻による航海訓練を通じた一貫教育の実施に加え、商船系大学や高等専門学校などの船員教育機関の学生に対する航海訓練を通じ、海運業界のニーズに応じた新人船員を養成するとともに、水先人の養成や船員の実務教育を通じた優秀な海技者の養成を行う我が国最大の船員教育機関として発足しました。
- ・ 一方でJMETSは、非常に厳しい財政事情の中で経営基盤の安定を図り、船員教育訓練をより充実させ、日本を支える優秀な船員の育成に努めるため、令和2年度より寄附金制度及び賛助会員制度の本格運用を開始しました。
- ・ 当機構の教育・航海訓練・研究業務・海事広報等の活動へのご理解とご賛同をいただき、船員教育機関として、より社会に貢献するためにも、皆様の暖かいご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



- ・ 賛助会費  
個人賛助会員 1口 5千円  
法人賛助会員 1口 5万円

※ JMETS賛助会費(寄附金)は、特定公益増進法人への寄附にあたり、所得税・法人税の優遇措置の対象となります。

WEBから  
簡単申込

